

燕市 農業委員会だより

農業者年金特集号



令和3年度田んぼアート稲刈りイベント（燕市米納津地内）

「農業者年金」の 特徴とメリット

燕市農業委員 遠藤 忠 夫
(農政部長)

老後の備えはおすすめですか。安心して過ごされるように農業者年金の特徴とメリットをお伝えします。

加入要件は、国民年金被保険者の方、年間60日以上農業に従事している方、60歳未満の方となっております。少子高齢化時代に強い積み立て方式、確定拠出型の年金となっています。

自ら積み立てた保険料と、その運用益により将来受け取る年金額が決まる安定的な年金です。保険料の額も自由に決められ、月二万円から六万七千円までの間で設定でき経営状況や自分の老後設計に合わせていつでも見直すことができます。また、保険料が全額社会保険料控除でき、税制優遇措置も受けられます。

このように、厚生年金に加入できない農業者等を対象に国民年金の上乗せとして支給される政策年金ですので、様々なメリットをご理解いただき、楽しく生きる老後のために、是非加入をおすすめいたします。

加入のご相談は、身近な農業委員

またはJAにお願いします

令和3年10月／燕市農業委員会編集・発行
〒959-0295 新潟県燕市吉田西太田1934番地

電話 0256-77-8251（直通）
FAX 0256-77-8504

ホームページアドレス
<http://www.city.tsuabame.niigata.jp>

自然農法で耕作放棄地解消

燕市農業委員 金 山 吉 夫

農業者の高齢化や担い手がいない等の理由により、耕作放棄地が増加しています。私の担当地域である八王寺でも耕作放棄地やそれに移行する恐れがある水田が多数見受けられます。今年、耕作放棄地の解消策として自然農法による水稻栽培が行われ効果を発揮しています。自然農法とは、水稻の持つ生命力を生かした低農薬、低肥料と作業の省力化を実現し、別名「への字型稲作」といわれています。

6月下旬から7月初めに田植えを行い収穫は10月初旬から開始します。肥料は作付けから3年間は無肥料で、その後米ぬかと米屑、大豆屑、海藻、海水を原料とする「ぼかし肥料」を10a当り50kg植付本数は坪当り37本と疎苗植えをします。農薬は竹酸液を主原料として自前で作り、このように稲の生命力を十分に発揮させ、しかも極めて低コストでエコな農法です。

その反面収量は10a当り約240kgと低収量であるため、栽培面積が従来の約2倍を必要とします。耕作放棄地対策としては高収量を目指さなくても、低コストで省力化の自然農法は効果がありますが、課題として田植えが2ヶ月遅れることによる用水の確保が必要になります。地域の創意工夫をもって耕作放棄地が少しでも解消できるようになればいいと願っております。



作付け前



作付け後

新人農業委員 の一言



燕市農業委員
五十嵐 博子
(高木)

8月より農業委員に就任し2ヶ月が経ちました。私は専業ですが農業経験が浅く、知識不足のため農業委員の活動を覚えるのは大変です。しかし、その分やりがいのある仕事だと思っています。その中でも、担い手の高齢化による後継者不足問題は解決していかなければならない重要な課題だと思います。

新型コロナウイルス感染拡大のため、食品産業の経営が影響を受けているとの報道があるとおり、農業分野においても売上低下などの影響があるのではないかと思います。一日でも早く新型コロナウイルス感染が収束し、今まで通りの生活ができることを願っています。

推薦して下さった地域の方々の期待に応えられるように微力ながら頑張りたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

編 集 後 記

昨年に続き「年金特集号」を発行しました。
今回で第4号の「年金特集号」です。

8月より燕市農業委員会は新体制となり委員数は29名から26名となりました。女性農業委員は3名おり、新しい目線で農業委員会活動を推進していきます。

今回の特集号は農業者年金加入者からの声や年金制度の紹介と合わせて耕作放棄地解消の実例紹介等の農業委員活動を掲載しました。

これからも目に見える農業委員会活動を「農業委員会だより」などを通じて皆様に活動内容を紹介していきます。

広報委員長 金 山 吉 夫

広報委員 山 田 直 子／荻 原 一 郎／澁 木 誠 治／瀬 戸 一 義／片 桐 正 敏



農業者年金加入者の声



農業がんばってます

農業を始めたきっかけは、子供のころから農作業の手伝いをしていて興味があったことと、高校生の時に母親を病気で亡くし、父親と一緒に農業に従事しなければいけないと思い、農業大学校卒業と同時に親元で就農しました。

経営規模は水稲11ha、内受託1.5ha、大豆3haを耕作しており、大豆組合から播種、刈取りの作業も受けています。現在、冬場は休んでいますが、いずれ、冬期間も育苗ハウスを利用した園芸などもやってみたいと



思っています。

現在の経営で感じていることは、リスクを分散するには労働力が必要ですが人を雇用すれば当然人件費が発生します、そのため採算がとれる経営も考えていかなければならないと感じています。家族でゆっくりと農業経営をしていくこともいいのですが、将来は法人を立ち上げ後継者を育成していくことも選択肢の一つとして考えています。

農業者年金は担当農業委員のすすめで加入しました。以前から興味がありましたが、将来のことを見据え、国民年金の上乗せとして加入しました。

桜町 南 波 太 郎



和牛繁殖農家となって

和牛繁殖を始めたきっかけは、平成27年に父が1頭の牛を友人から譲りうけペットとして飼ったことがきっかけです。父は以前から本格的に和牛繁殖を始めようという思いがあり、県普及指導センター等からの紹介で和牛を買い求め本格的に繁殖経営を始めました。現在は約50頭の牛を飼育しています。

私は令和元年に会社を退職し、1ヶ月間農業大学校で研修した後、父が営んでいる繁殖経営に就農しました。父は主に飼料イ



(左) 勝成さん (右) 父・誠一さん

ネや牧草、米を合わせて約16haの生産管理をし、私は牛の人工授精、えさやり、健康チェック、牛舎の清掃など全般的な管理をしています。

肉用牛の生産においては、牛の発情期を逃さないようにすることが大切であり、逃してしまうと繁殖期をのがしてしまい生産効率が悪くなってしまいます。そのために日々観察していなければなりません。時には夜中に出産のときもあり、牛舎に駆け付ける時もあります。無事に牛が生まれてくるように、出産時は一番神経を使います。父が経営する和牛繁殖に携わってまだ年数が浅いですが、将来的には規模拡大し法人化することも考えています。

源八新田 清水ファーム
清 水 勝 成



若い農業者の皆さん！ 自分の老後 自分で守れますか？

若い
今こそ年金
アクション！

若い農業者の方は、**国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」**に加入して
安心で豊かな老後を！



NOU
NEN

ポイント

1

国庫補助で手厚い支援！

1万円の自己負担で**2万円の積立てが実現！**

ポイント

2

早く加入すれば、**国庫補助が長く受けられる**

ポイント

3

自ら支払った保険料は、

全額社会保険料控除の対象！

さらに**保険料は自由に選べる！**

詳しくは… 農業者年金基金

検索

<https://www.nounen.go.jp>

